



座談会でのワークショップの様子

第3回 町長と語ろう!

「未来へつなぐ地域座談会」を開催しました!

昨年8月20日から10月29日までの約2か月間に、町内15か所で「町長と語ろう! 未来へつなぐ地域座談会」を開催しました。

各座談会場には、お忙しい中にもかかわらず、延べ197人の方々が出席され、限られた時間の中でありましたが、真剣にご意見やご提案をいただくことができました。誠にありがとうございました。

【問い合わせ】政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222

各会場の参加状況：15会場で197人が参加されました

開催日	会場	テーマ	参加者
8月20日(土)	萱沼児童館	有害獣対策・自治会	8人
	宇津茂地域集会施設	有害獣対策・座談会	8人
8月23日(火)	茶屋地域集会施設	災害対策・交通対策	19人
9月23日(金)	沢尻地域集会施設	災害対策・子育て施策	14人
9月27日(火)	かなん沢・中里地域集会施設	災害対策・自治会	16人
	町屋地域集会施設	高齢者福祉・環境美化	9人
10月2日(日)	役場1AB会議室	高齢者福祉・環境美化	11人
	仲町屋地域集会施設	災害対策・観光振興	10人
10月4日(火)	仲町屋地域集会施設	災害対策・観光振興	10人
10月13日(木)	虫沢地域集会施設	災害対策・環境美化	10人
	神山地域集会施設	災害対策・高齢者福祉	12人
10月16日(日)	河内児童センター	災害対策・高齢者福祉	22人
	湯の沢児童センター	災害対策・高齢者福祉	16人
10月18日(火)	湯の沢児童センター	災害対策・高齢者福祉	16人
10月21日(金)	城山地域集会施設	災害対策・環境美化	12人
10月29日(土)	店屋場地域集会施設	災害対策・環境美化	17人
	弥勒寺多目的集会施設	災害対策・環境美化	13人
合計			197人

テーマは地域から募集
座談会の開催は今年度で3年連続となりました。過去2回は、町があらかじめ設定したテーマ(初回は「総合計画」、第2回は「おもてなし」)で開催しました。しかし、テーマが地域の実情に即していないなどのご意見を頂いたため、今年度は各自治会へ募集して決め、地域の特色が表れた座談会となりました。(左表参照)

テーマ募集の時期が熊本地震の直後だったことも影響したのか、災害対策を選ぶ会場が多く、世相を反映する一番身近なテーマで議論が深まりました。

座談会の流れ
座談会は、町長のあいさつで始まり、その後、町に対する提案や質問、その後の町長や担当課長からお答えしました。

直接町長と意見を交換する機会でもあり、町への提案や質問については、多くの方にご発言いただきました。自治会内の身近なことから始まり、台風が通過した直後に開催した会場では「台風時の体制」や、「避難方法」などが話題となり、町民の皆さんの声を伺うことができました。それに對し、町長や担当課長からお答えしました。

町に対するご提案やご質問
案や質問↓応答↓自治基本条例に関する説明↓ワークショップ(※)という流れでおおむね2時間実施しました。

※ワークショップ形式
参加者が、少人数グループでテーマに沿って、自由にアイデアを出し合える会議形式

自治基本条例について
本紙で随時お知らせしていますが、町では、自治基本条例の制定に向けて、審議委員会を中心に議論を重ねております。

今回の座談会では、制定の意義や、必要性、そして条例は役場主体ではなく、町民の皆さんと一緒に町全体で作っていきたいということなどをご説明しました。

ワークショップの目的
ワークショップでは、少人数のグループに分かれ、各自治会で設定したテーマについて自由に意見やアイデアを交換しました。

それにより、地域が抱えている状況などについて皆さんが共通認識を持ち、また、他の方の意見を聞くことで、新たな問題点や解決策などを発見することが狙いでした。

大人数では、なかなか発言しづらい方にもご発言をいただくことができ、それぞれのテーマに沿った議論が繰り広げられました。最後には、住民の皆様自身で考えられた、原因や解決方法などが発表されました。ユニークなものや鋭い提案などもあり、会場は最後まで熱気に包まれていました。

町民の皆さまのご提案やご質問につきまして
2月1日に各自治会長へ回答させていただいたほか、町公式サイトにも掲載致しました。今後の町の施策や事業の推進において、参考として取り組んでまいります。

テーマ	意見提案などの概要(抜粋)
有害鳥獣や防護柵	・町の取り組みを「広報まつだ」で特集して周知を強化すべき。・監視カメラやエアガンの貸し出しをしてほしい。・被害報告の簡略化をしてほしい。・シカやイノシシの捕獲後の処分は、有効利用してほしい。・シカにはヤマビルがついてくるので、ヤマビル対策も必要。
災害対策	・災害時における地域のお助け隊を編成したらどうか。・防災無線が聞こえにくいので、スピーカーを増やすなどの対策はできないか。・避難訓練は、自治会ベースではなく避難所ベースで行ってはどうか。・以前配られた黄色いタオルの使用法について再度説明してほしい。・避難勧告などが出る基準について教えてほしい。・防犯カメラを増設し、安全安心なまちづくりを。
高齢者福祉	・町の中に介護施設・事業所が少ないことは弱点であるが、そのことをどう考えているか。・「お休み処」のPRをもっと強化すべき。・高齢者の健康づくりや社会参加を促進するため体操やウォーキングなどのイベントを計画したらどうか。・老人クラブが衰退している。活性化を町全体で議論したいので協力してほしい。
自治会のあり方	・自治会未加入者へ加入促進パンフレットを作成するなどの対応を検討してほしい。
座談会のあり方	・若い世代が座談会に来ていないので、もっとPRすべき。・地域座談会のテーマについて、もっと切実な問題を取り上げるべき。
交通対策	・新松田駅前をどのように整備する計画なのか教えてほしい。・見通しが悪く子どもが使いにくい横断歩道があるので、見守りなども含めて検討してほしい。・優先表示板などの設置でスムーズな通行ができると思われる箇所がある。・空き地を利用して、道路への出入り口を拡張することができないか。
環境美化	・町外の方がゴミを自治会の集積場に捨てていくことがあるので対策が必要。・資源ゴミの増加に対して、町としての考えを聞きたい。・ポイ捨てが多いので対策を講じるべきである。・イベント時に決まったゴミ捨て場を設定できないか。
子育て施策・教育	・子ども会が減りつつあるので、会の範囲を広げるなど、いかに存続していくべきかを考えることが必要。・町民全体の人口減少に伴う幼小中の教育環境をどのように考えているのか。・寺子屋は、良い制度だと思う。・通学路の危険箇所の安全策が必要。
観光の振興	・寄自然休養村管理センターで、登山用品の販売をしたらどうか。・登山客向けにヤマビルの対処法などを広報する必要がある。・ハーブ館への道すがら耕作放棄地があるので、四季の花などを植えたらどうか。・町内のトイレを早急に整備する必要がある。・桜まつりの交通混雑を緩和できないだろうか。・イベントは近隣自治体と連携して盛り上げるべき。
その他	・移動販売車は大変すばらしい取り組みだが、ルートや拠点は、地域の声をもっと反映してほしい。・町が取得した土地などについて利活用方法を住民に周知してほしい。・おもてなしを推進するのは、まず役場が意識改革すべき。・地域行事は消滅の危機にあるので、記録として伝承する取り組みが必要。